



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年2月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東  
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 正行  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻村 誠 TEL 0569-29-0202  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,687	△9.0	98	△54.8	110	△51.3	69	△48.8
26年3月期第3四半期	5,154	6.1	218	△22.0	226	△20.7	134	△13.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	8.40	—
26年3月期第3四半期	12.53	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	5,481	2,090	38.1	253.42
26年3月期	5,039	2,047	40.6	249.45

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,090百万円 26年3月期 2,047百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
27年3月期	—	2.50	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,120	△8.9	121	△38.7	131	△37.3	65	△50.1	7.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	11,660,734株	26年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	3,410,973株	26年3月期	3,452,054株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	8,228,589株	26年3月期3Q	10,768,567株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による成長戦略に基づく経済対策や金融緩和による円安・株高が進行し、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動や海外経済動向など、先行きについては、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ。」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。さらに、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売費及び一般管理費の削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、効率的となった営業体制と強固な財務基盤を維持継続しつつ、中期経営計画に基づき利益を重視した新たな経営戦略を推進してまいりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、これまでのTwo-Wayの拡大に加え、ボトルの回収が不要なOne-Way方式においても注力し、全国展開による営業エリア拡大と顧客数の増加など事業拡大に努めました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は4,687百万円(前年同期比9.0%減)、営業利益は98百万円(前年同期比54.8%減)、経常利益は110百万円(前年同期比51.3%減)、また四半期純利益は69百万円(前年同期比48.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)におきましては、小売部門においては、消費税増税による消費の反動が影響し、品目別においても保健品等の販売が減少し前期同期比で減収となりました。卸売部門においては、除菌消臭剤関連商品において商流変更やシーズンオフ(上期)に伴う一時的な返品が重なりました。今シーズン(下期)においては、商品ブランド向上のため、「スヌーピー(SNOOPY)」を使用した新商品を導入する等商品アイテム数を増やし、販売強化に努めると共に、店頭販売価格を下げ、消費者の購入意欲向上にも努めてまいりました。また飲料の販売につきましては、上期に関東地方の気候の影響により消費意欲の減退や消費税増税の影響により減収となりました。その結果、売上高は4,255百万円(前期同期比10.1%減)、セグメント利益80百万円(前期同期比64.0%減)となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。またOne-Way方式により営業エリアが拡大され顧客への拡販も積極的に取り組みました。その結果、売上高は428百万円(前期同期比2.1%増)、セグメント利益18百万円(前期同期はセグメント損失4百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,998百万円となり、前事業年度末に比べ144百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加248百万円、受取手形及び売掛金の増加125百万円及び商品及び製品の減少105百万円によるものであります。固定資産は2,482百万円となり、前事業年度末に比べ297百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産のその他の増加314百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,481百万円となり、前事業年度末に比べ441百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,304百万円となり、前事業年度末に比べ88百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加83百万円によるものであります。固定負債は1,086百万円となり、前事業年度末に比べ310百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加288百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、3,390百万円となり、前事業年度末に比べ398百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,090百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加27百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.1%(前事業年度末は40.6%)、1株当たり純資産額は253.42円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年10月29日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直した結果、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

なお、当該変更による損益等への影響はありません。

##### (従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期会計期間より適用しております。なお、現在導入している制度は、第1四半期会計期間の期首より前に締結された信託契約によるため、それに係る会計処理については従来採用していた方法を継続適用しております。そのため、当該会計方針の変更による影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	826,720	1,074,813
受取手形及び売掛金	584,264	709,337
商品及び製品	782,210	677,128
委託商品	436,623	396,110
仕掛品	103	94
原材料及び貯蔵品	46,316	37,069
その他	184,068	111,091
貸倒引当金	△6,267	△7,066
流動資産合計	2,854,038	2,998,579
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	435,120	417,173
土地	1,303,487	1,303,487
その他(純額)	82,028	396,643
有形固定資産合計	1,820,636	2,117,304
無形固定資産	55,976	62,510
投資その他の資産		
前払年金費用	38,533	50,389
その他	274,643	257,038
貸倒引当金	△4,105	△4,281
投資その他の資産合計	309,071	303,146
固定資産合計	2,185,683	2,482,961
資産合計	5,039,722	5,481,540
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	617,367	582,560
短期借入金	905,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	90,011	173,976
未払法人税等	7,672	26,314
賞与引当金	162,990	83,716
返品引当金	21,451	4,163
その他	411,581	524,008
流動負債合計	2,216,073	2,304,739
固定負債		
長期借入金	354,382	643,369
退職給付引当金	125,215	131,358
資産除去債務	4,454	4,490
長期未払金	234,590	234,590
その他	57,324	72,334
固定負債合計	775,967	1,086,142
負債合計	2,992,041	3,390,882

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	424,177	424,177
利益剰余金	1,971,708	1,999,265
自己株式	△1,036,457	△1,024,131
株主資本合計	2,040,441	2,080,324
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,239	10,333
評価・換算差額等合計	7,239	10,333
純資産合計	2,047,680	2,090,657
負債純資産合計	5,039,722	5,481,540

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）
売上高	5,154,098	4,687,662
売上原価	1,884,180	1,646,607
売上総利益	3,269,917	3,041,055
販売費及び一般管理費	3,051,825	2,942,432
営業利益	218,092	98,622
営業外収益		
受取利息	63	55
受取配当金	2,336	1,924
受取家賃	8,605	9,580
貸倒引当金戻入額	2,401	—
事故保険金	2,921	3,335
その他	3,138	4,795
営業外収益合計	19,467	19,690
営業外費用		
支払利息	2,389	6,642
支払手数料	7,815	1,148
その他	398	0
営業外費用合計	10,603	7,791
経常利益	226,956	110,521
特別利益		
投資有価証券売却益	7,451	—
特別利益合計	7,451	—
特別損失		
固定資産除売却損	279	779
特別損失合計	279	779
税引前四半期純利益	234,128	109,742
法人税、住民税及び事業税	10,379	24,990
法人税等調整額	88,779	15,598
法人税等合計	99,158	40,588
四半期純利益	134,969	69,153



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,648,379	1,083,041	419,709	5,151,129	2,969	5,154,098
計	3,648,379	1,083,041	419,709	5,151,129	2,969	5,154,098
セグメント利益 又は損失(△)	275,484	△52,442	△4,950	218,092	—	218,092

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高						
外部顧客への売上高	3,632,631	622,740	428,652	4,684,024	3,638	4,687,662
計	3,632,631	622,740	428,652	4,684,024	3,638	4,687,662
セグメント利益 又は損失(△)	227,529	△147,265	18,358	98,622	—	98,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。